

猫が庭に入らないようにする方法

比較的効果があると思われる方法をご紹介します。個体差もあり、猫によってはあまり効果がない場合もあります。また、方法によっては効果が長続きしない場合や、繰り返し行うことが必要な場合もあります。また、だんだんと猫が慣れてしまって反応しなくなる場合もあります。

【忌避剤】

猫の嫌いな臭いや刺激によって猫が近づきにくくする方法です。雨や風で効果が薄れてしまうので、定期的に交換してください。猫が臭いに慣れてくると効かなくなるので、同じものを使い続けるのではなく、時々種類を変える必要があります。臭いがきついものや色が付いてしまうものもあります。化学薬品などは健康被害の誘因となる可能性があるので使用をひかえてください。

市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売。 ※ 長期間にわたって効果が持続するわけではないことに注意。
香りの強いハーブなどの植物を植える	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。あるいはハーブの香料を置く。 ※ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、タマネギ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリッド(ドイツで開発されたコリウスの一種で犬にも有効と言われる) など。
木酢液	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている。容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。スプレーすれば、猫のにおい消しにも有効。
竹酢液	竹酢液(園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている)を容器に入れて置く。スプレーで噴霧する。
生にんにく	細かくきざんで撒く。 ネットに入れて吊るす。
とうがらし	細かく刻むか粉末状のものを撒く。
コショウ、カレー粉等の香辛料	通り道やフンをする場所に散布する。
コーヒーかす、茶殻	コーヒーを淹れたあとのカス、どくだみ茶などの茶殻を散布。 ※ 乾燥してしまった場合の効果は不明。花壇等にも撒ける。
米のとぎ汁	磨ぎはじめの濃い汁を毎日まく。

ミカンなどの皮	かんきつ類の皮を撒く。 ※乾燥してしまった場合の効果は不明 かんきつ類の香りのする薬品を置く。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。2倍から10倍程度に水で薄めたものを毎日噴霧。
ハッカ系のもの	ハッカ系芳香剤、ハッカ系ハーブ、ハッカ系練り歯磨きをまく。
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたものを撒く。またはつぶした汁をまく。 どくだみを植える。
重曹	まいたり、土に混ぜ込むことで、猫のにおいを消すことができる。
タバコの吸殻水	タバコの吸殻を水やお湯につけておいたものをまく。 (誤って飲むとニコチン中毒になるおそれがあるので取扱い注意。)
塩素系漂白剤	ブリーチやハイターなどを濃いめに水で薄めて容器に入れておく。 (散布すれば猫の臭い消しにも有効。目、鼻、喉の粘膜を痛めるおそれがある。また、腐食するので金属部には使用できない。取扱いに注意する。)

【障害物など】

水を入れたペットボトルを設置する方法は、ほとんど効果はありません。場合によっては、火災の原因となるのでやめましょう。

水を撒く	ホースでたっぷり水を撒く。 ※ 猫は体がぬれることを嫌がります。
砂利(軽石)	大きめの砂利を敷き詰める。軽石(中玉の大きさ)は安価で効果も大きい。花壇などの場合は直径1cm程度の軽石が混じった観葉植物用の土を敷く。
大きな石	物理的に歩けなくなる位置に石を置く。
松ぼっくり	猫が歩くところに敷きつめる。
枯れ枝	球根や種を植えている所に敷きつめると掘り返されない。
トゲのある植物を植える・葉を撒く	カラタチ、バラ、サボテン、ヒイラギ、ピラカンサ、地面に沿って延びるタイプのコニファー など ※ 猫の通り道対策として植栽に。ヒイラギの葉を花壇等の表土に混ぜ込むと効果的。 ※花壇等におすすめ

<p>地面を被う植物を植える</p>	<p>日当たりの良い庭の場合の例：タイム、ヘリクリサム、ビオラ、オランダイチゴ、ケンタッキーブルーグラス、ブルーフェスク、リボングラス、レモングラス、ゼラニウムなど</p> <p>日陰の庭の場合の例：アイビー、ツルニチニチソウ、斑入りカキドオシ、ラミウム類 など</p> <p>※ 植物が10～30cmぐらいの高さ(猫の目の高さぐらい)に繁っていると、猫は茂みの中に入っていない。</p> <p>※ 茂みの高さはできるだけ高く、密であることが望ましい。やわらかそうな裸の土を見せないこと。軽石等を敷く方法を併用するなどの工夫をすれば、全体を植物で覆う必要がなくなる。さらにハーブ系・柑橘系の香りがする植物の場合は相乗効果が期待できる。</p>
<p>灰などを撒く</p>	<p>ホームセンターや園芸店で販売されている。園芸用の石灰や炭粉などを撒く。足に付き、猫が嫌がる。</p>
<p>とげとげシート</p>	<p>ホームセンターや園芸店で販売されている。全面に敷きつめなくても、跳び越えられない幅に敷けばよい。塀の上など有効。</p>
<p>目の細かい網</p>	<p>敷くと爪が引っかかり歩きにくい。</p>
<p>アルミホイル</p>	<p>敷くと足音がするので嫌がる。</p>
<p>物理的妨害</p>	<p>トレリス(ガーデニング用の木製の柵)を倒しておいておく。(花壇等の場合)</p>
<p>ネットや柵</p>	<p>乗り越えられない高さ(1.5メートルほど)の網、柵で囲うか、侵入路をふさぐ。</p>
<p>地面を覆う</p>	<p>やわらかい土は猫が排泄しやすいので、タイルやコンクリートで地面を覆う。</p>

【猫を追い払う方法】

猫は愛護動物ですので虐待にあたるような行為をしてはいけません。法律で罰せられます。

水鉄砲等	<p>猫は水に濡れることを嫌うので、追いはらうことができる。ただし、人がやっていることがわかってしまうと、不在時に侵入するようになるので、猫に見破られないように隠れてするとよい。</p> <p>※ 柑橘系の匂いを含んだ水だとさらに効果的と言われている。 ※ 散水式ホースを設置しておいて、猫を見かけたら水を出すか、あるいは、センサー感知式で自動放水する製品が販売されている。(効果不明)</p>
ブザー	<p>遠隔操作式のものやセンサー付きのものが防犯コーナーに販売されている。猫が通過するときに鳴らすと警戒して近寄らなくなる。</p>
超音波機器	<p>センサー感知式の超音波発生装置(→保健所で貸出ししています。)</p> <p>※ 猫の個体差で反応が鈍い場合がある。また、だんだんと猫が慣れてしまう場合があり、費用対効果を考える必要がある。</p>